

**総合計画・都市基本計画の  
見直しに係る  
意見交換会**

**意見概要**

**令和2年2月  
高山市**



## 開 催 状 況

地域・地区	まちづくり協議会名	開催日時	参加者数
東	空町まちづくり協議会	11月26日(火)	13
西	西地区まちづくり協議会	12月19日(木)	6
南	みなみまちづくり協議会	12月16日(月)	16
北	北地区まちづくり協議会	12月9日(月)	9
山王	山王地区まちづくり協議会	12月13日(金)	25
江名子	江名子校区まちづくり協議会	12月19日(木)	18
新宮	新宮地区まちづくり協議会	12月11日(水)	29
三枝	三枝の郷まちづくり協議会	11月28日(木)	16
大八	大八まちづくり協議会	12月12日(木)	10
岩滝	岩滝まちづくり協議会	11月29日(金)	14
花里	花里まちづくり協議会	12月16日(月)	12
丹生川	丹生川まちづくり協議会	12月2日(月)	53
清見	清見町まちづくり協議会	12月18日(水)	21
荘川	荘川町まちづくり協議会	12月13日(金)	24
一之宮	一之宮町まちづくり協議会	12月10日(火)	28
久々野	久々野まちづくり運営委員会	11月27日(水)	37
朝日	朝日まちづくり協議会	11月29日(金)	26
高根	高根まちづくりの会	12月17日(火)	22
国府	国府町まちづくり協議会	12月17日(火)	38
上宝・奥飛騨温泉郷	たからまちづくり協議会	12月2日(月)	27
計			444

市民意見交換会における意見と対応

地域 (地区)	意見	対応
東	火葬場が他地域に建設された場合、西洞町の今後の土地利用はどうなるのか。	新たな火葬場の建設地を選定中であり、現在の火葬場敷地の土地利用については、建設地を決定した後に方針を定める。
東	人口減少や高齢化について心配している。どのような対策をしていくのか。	移住や地域経済の活性化、子育て・高齢者支援など、より効果的なものとなるよう引き続き様々な施策を展開する。
東	拠点とネットワークで結ぶとあるがどういうことか。	拠点において生活に必要な施設などの充実を図り、効果的・効率的な公共交通などで拠点へのアクセスを確保するという考え方である。
東	当地域では、人口減少と地域コミュニティの維持が重要な課題と捉えている。地域のまちづくりの方向性には記載がない。	人口減少や高齢化、地域コミュニティの維持は、全地域共通の重要な課題であることから、まちづくりの方向性とまちづくり戦略において示す。地域のまちづくりでは、地域の特性や資源を活かした方向性を示している。
東	東地区の課題として、まちづくり協議会の事務所機能が地区内にないことがある。対応状況を教えてほしい。	地区内への事務所の設置に向けて検討をすすめている。引き続きまちづくり協議会と相談しながら検討する。
東	計画に記載する数値目標はどのような考え方で記載するのか。	政策を検証できる指標を設定する。
東	高山城のVR映像をみせてもらった。非常によい取り組みである。	高山城のVR映像については、飛騨高山まちの博物館での公開のほか、様々な機会を捉えて活用し、観光振興と市民の歴史文化への理解につなげる。
東	まちなみバスやのらマイカーの路線など、観光客を主とした路線、ダイヤとなっており、住民が使いやすい路線やダイヤにしていきたい。	来年度から観光客の利用を主眼とした観光特化型バスを運行するとともに、のらマイカーなどの運行エリアや路線など、公共交通の見直しを検討する。
西	市で木製の側溝のふたを設置後、維持管理は地域に任せっきりである。継続して維持管理が行き届くしくみを考えるべきではないか。	木製の側溝ふたについては、従前より個人宅等への進入用に設置されていたものの機能補償として市で設置しているが、設置後の維持管理については各個人での対応をお願いし、ご了承をいただいている。ふた表面の木製部分が腐食等で交換が必要な場合は、取扱業者の紹介など相談対応を行う。
西	地域で道路脇に樹木を植えようと、市に苗木を要望したところ、すぐに用意してもらえた。地域活動に対して市が支援することをPRすることで、市民の協力が増えると思う。これからは地域住民の力を引き出すしくみを作り、PRすることが重要である。	行政だけでなく、地域に関わる多様な主体が協働し、取り組んでいく地域のまちづくりの方向性を示している。市と地域が共通認識を持ちながら、情報を共有するとともに、協働・連携した取り組みをすすめる。
西	人口が大幅に減少すると予測されており、このままでは祭りの維持が困難になる。他地域の人に祭りの協力をお願いすればいいという意見もあれば、それは困るという意見もあり、対応に苦慮している。	屋台組等の意見を伺いながら、引き続き祭礼行事の維持継承に向けた取り組みをすすめる。

地域 (地区)	意見	対応
西	朝市は外人も多く活気があるが、後継者がいないため、店を続けられない個人経営者が増えていると聞くので、維持できるよう市でバックアップできないか。	今後、(仮称)宮川人道橋を整備し、周辺の賑わいを創出するとともに、下町のグランドデザインを策定し、地域活性化を図る予定である。その中で、朝市のあり方などについても考えていく。また、産業全般において事業承継が課題と認識しているので、対策に取り組む。
西	人道橋の他に予定している施策があれば教えてほしい。	(仮称)宮川左岸賑わい創出施設の整備や下二之町の若者等活動事務所の運営などにより、下町全体の活性化を図る。
西	市の計画にも郷土への誇りと愛着などについて書かれているが、物足りなさを感じる。あらゆる方法で郷土教育に力を入れて取り組むべきである。	郷土教育は重要なことと捉えているので、力を入れて取り組む。 地域とともに子どもを育てるコミュニティ・スクールを推進するほか、若者等活動事務所を活用した伝統・文化に触れる機会の創出や郷土への愛着形成などにも取り組む。
南	市民意見交換会では、難しい言葉をなるべく使わず、市民に分かりやすい説明をしてほしい。	説明や資料などについて、分かりやすくなるよう工夫する。
南	第八次総合計画策定から5年経過するが、どのような成果があったのか。	毎年度の事業評価、昨年度の施策評価の結果(ホームページで公表)などを踏まえ、政策の検討を行い、今回の見直しをすすめている。計画の推進により、課題が解決し、成果として市民が実感できるよう、引き続き努力する。
南	のらマイカーの増便について要望したが対応してもらえない。交通弱者のことを考えてほしい。	高齢者や自動車免許自主返納者など交通弱者が地域で暮らし続けられる移動手段の確保に取り組む。
南	市では現在、電気自動車の実証実験を行っているが、のらマイカーの自動運転も今後できるようになるのではないか。	自動運転技術など新たな公共交通手段等を検討する。
南	観光客は多いが市民が少なくなった。特に市街地の空洞化が進んでいる。市が示したコンパクトシティの考え方は賛成である。車に依存せず、歩いて暮らせるまちづくりをすすめてほしい。	各地域に拠点をつくり、コンパクトな拠点をネットワークで結ぶまちづくりを考えている。都市拠点として、まちなかに市民が集まるまちづくりについても力を入れていく。
南	飛騨の里の衰退が著しい。周辺の店舗は廃業して空家が目立ち、道路にも草が生えて管理されていない。	飛騨民俗村再整備構想を策定し、地域と話し合い、協働・連携しながら、松倉・民俗村エリア全体の活性化に努める。
南	緑ヶ丘では半数以上が60歳以上になり、市の人口も10,000人程度減少している。今後税収も減少していくので、負の遺産を将来に残さないように、橋など老朽化しているインフラを、撤去も含めて精査してほしい。	将来に負担を残さないよう、公共施設の総合的かつ計画的な管理運営を実施するため、公共施設等総合管理計画を策定し、施設の統廃合や複合化・多機能化等を含めた取り組みを推進する。
南	市の賃金は全国平均よりも47,000円も低いと聞く。市内の事業者はもっと支払うことができるのではないか。	市民所得の向上は重要な課題である。地域経済懇談会における議論も踏まえながら、様々な施策の検討をすすめる。
南	企業誘致をすすめないで働く場所がないため、子どもは戻ってくることができず、地域の活性化も図れない。力を入れてほしい。	サテライトオフィスの誘致をすすめており、特に市外に依存しているIT産業などの誘致に力をいれていくなど、若者が働ける環境の整備をすすめる。
南	人口減により、税収減を考慮した計画、改革をすすめてほしい。	中長期の財政見通しを考慮し、持続可能な行財政運営を推進する。

地域 (地区)	意見	対応
南	市では現在、電気自動車の実証実験を行っているが、のらマイカーの自動運転も今後できるようになるのではないか。	自動運転技術など新たな公共交通手段等を検討する。
北	今後も高齢化がすすむ中、地域でのボランティアや支え合いの活動が重要と考える。まちづくり協議会の活動をすすめるために市で方向性を示せないか。	市民や地域住民組織、事業者、行政などが協働・連携し取り組んで行く方向性を示している。地域では、支えあうことの重要性等地域がすすむべき方向性を明確にし一貫性のある活動を展開していくためにも、地域における「まちづくり計画」の策定に取り組んでいただきたい。市でも計画策定に必要な情報の提供等を行いながら共に考えていく。
北	産業の強化や労働者の賃金の低さ、働き方改革、生活の安定が課題と思っており、行政として何かできないか。	インキュベーション施設の整備など起業・創業への支援による産業の強化をすすめるほか、市内資金循環による経済の好循環の実現をすすめる。また、市内企業へのセミナーを開催するなど働き方改革を推進する。
北	若者が帰ってくるまちづくりを目指してもらいたい。	中学生や高校生の職場体験の充実や高等学校等卒業生の地元就労に対する支援など、市内の企業、仕事に触れる機会の創出により、若者が就労先として市内企業を選択しやすくなるしくみづくりに取り組む。また、郷土に対する誇りと愛着の醸成、地域アイデンティティの形成を図るため、郷土教育の推進などに取り組む。
北	起業、創業に対し大きく支援してもらいたい。若者のやりたい仕事を支援する新たな取り組みをお願いしたい。	インキュベーション施設の整備など起業・創業への支援の強化をすすめる。
北	元気に仕事をしている高齢者もおり、高齢化がすすむ中でいつまでも仕事ができる、高齢者が地域で活躍できるまちづくりをすすめる考えはないか。	高齢者が働きやすい環境を整え、高齢者の持つ技術や経験、知識の活用を促進するほか、高齢者の生きがいつくり、地域活動への参加の促進に引き続き取り組む。
北	幼児教育の無償化や様々な保育体制の充実により、子どもが家族と触れる時間が減っている。子どもにとって優しいまちづくりをすすめてもらいたい。	病児保育や長時間保育など、福祉サービスとして十分でなかった保育環境の充実をすすめてきた。家庭、地域、企業、行政などで認識を共有し、子どもにとってどのような環境が良いのか議論しながら、取り組みをすすめる。
北	災害時には、地域で顔が見える関係を築くことが重要である。地域でも頑張っている行政や企業などでの取り組みも期待する。	協働のまちづくりの推進に向け、引き続き支援を行っていくとともに、地域の状況を踏まえた地区防災計画の策定を支援するなど、地域の防災力の強化を図る。
北	アパートやマンションなどが多く、町内会の加入率が低い状況にある。市として強制的に加入をさせるような方法はないか。	市が強制的に町内会加入をさせることはできないが、引き続き、町内会連絡協議会や宅地建物取扱業協会と連携しながら加入促進に努めるとともに、町内会連絡協議会と対策を検討する。
北	これまでの総合計画の実績、成果をどのように考えているか。また、見直し後の計画は、結果を踏まえたものとなり、課題解決となっていくのか。	毎年度の事業評価、昨年度の施策評価の結果（ホームページで公表）などを踏まえ、政策の検討を行い、今回の見直しをすすめている。計画の推進により、課題が解決し、成果として市民が実感できるよう、引き続き努力する。
山王	外資により日本の山林が買い占められていることを聞くが、市内の山林などの財産を守る方法を研究してほしい。	売買を規制することは難しいが、各種法令に基づき、適正な土地利用が図られるよう努める。
山王	災害に強い山林とするため、森林の適切な管理に取り組んでもらいたい。	市内民有林を木材生産区域と環境保全区域に分け、それぞれの機能に応じた森林整備をすすめる。

地域 (地区)	意見	対応
山王	地域ごとのまちづくりだけではなく、広域的な視点を持って、全体の計画をすすめてもらいたい。	地域の特徴などを活かしたまちづくりをすすめるとともに、引き続き市全体の地域振興を図るため、様々な施策を展開する。
山王	「まちづくり協議会の範囲を含め柔軟に」とあるがどのようなことか。	地域のまちづくりでは、長期的な視点に立った都市づくりの考え方（将来都市構造など）を含めた方向性を示している。また地域の範囲は、現段階では、まちづくり協議会の範囲で設定することが市民にとって分かりやすいと考えている。しかし、同じ地域内であっても産業や居住の状況や特性が異なるなどの課題もあることから、地域設定のあり方などについて議論を深められるよう柔軟な対応を図る。
山王	火葬場やごみ焼却処理施設の整備は、相当時間がかかっているが、力を入れて早くすすめてもらいたい。	早期の整備に努める。
山王	手入れが行き届いていない山林がある。民有林で市として整備ができないかもしれないが、安全と環境保全の面からもすすめてもらいたい。	里山の保全契約や取得などをすすめている。市内民有林を木材生産区域と環境保全区域に分け、それぞれの機能に応じた森林整備をすすめる。また、県里山林整備事業などを活用した整備にも取り組む。
山王	街路樹に地元の樹木でないものが植えられているので、地元の樹木を植えてもらいたい。	今後、街路樹を新設・更新する際は樹種について、地域の皆様と調整する。
山王	目指す都市の姿の詳しい説明をしてほしい。	各地域の拠点において生活に必要な施設などの充実を図り、効果的・効率的な公共交通などで拠点にアクセスできる都市の姿を描いている。
山王	住みやすさ、居住のしやすさを基本に、住環境の整備に取り組んでほしい。	誰もが暮らしやすい地域づくりを念頭に、生活サービス機能の確保や交通アクセスの向上、基盤整備などに取り組む。
山王	市の状況を外に発信し、人を呼びこむ、住む人を増やす取り組みをしっかりとすすめてほしい。	飛騨高山ブランドの発信に積極的に取り組むことで、産業の活性化、移住の促進を図る。
山王	分野別から変更し、重点的な方向を示すことはとても良い。それぞれが複雑にからんでいると思うがうまく組み合わせながらすすめてもらいたい。	それぞれのまちづくりの方向性が相関関係を保ちながら好循環をもたらすよう取り組む。
山王	子どもを増やしていく取り組みが必要である。	子育て世代の経済的・精神的負担などを軽減し、子どもを安心して生み育てることができるよう施策を展開する。
山王	宮川の河川の整備をすすめてもらいたい。	県では、現在宮川圏域河川整備計画及び治水プランに基づき計画的に整備をすすめている。特にこれまで洪水等の被災箇所を優先して河川改修を実施しており、山王地区での整備は未定である。
山王	中橋下流の護岸の柵などが河川側に曲がっている。危ないため対応をしてほしい。	河川管理者である県高山土木事務所と協議し、対応する。
山王	コンクリートなどによる宮川整備は反対である。草木が生え、水が浄化されるような川にしてみたい。	河川管理者である県高山土木事務所へ自然環境に配慮した整備を要望する。

地域 (地区)	意見	対応
山王	清流である宮川へのコイの放流はおかしい。考えてもらいたい。	宮川への鯉放流については、宮川の鯉を守る会、宮川漁業協同組合、高山市民憲章推進協議会により、毎年、春と秋の高山まつりに合わせて実施されている。色鮮やかな鯉が泳ぐ姿を見ることで、河川への汚水流出や廃棄物投棄など人的要因を減らす目的で実施されているが、生態系への影響を危惧する意見もあることから、今後のあり方について市民憲章推進協議会において議論する。
山王	宮川には昔、ウグイなどの魚がたくさんいたが今はいない。水質検査など原因をつかんで、しっかり対応してもらいたい。	市内各所の河川で水質調査を継続して行っているが、下水道の普及と共に水質の向上が図られ、概ねきれいな状態が保たれていると捉えている。引き続き、水質の監視や水質事故などの対応を確実にし、水質の向上を図る。
山王	ICTや自動運転に対応できる通りやすい道路を作るなど、将来を見据えた都市づくりをすすめてほしい。	新たな技術の活用も含めて、公共交通のあり方や関連する基盤整備について検討をすすめる。
山王	ボランティアをするとポイントがもらえるなど、いろいろなアイデアの事業をすすめてほしい。	引き続き様々な施策を展開するとともに、さらに効果的なものとなるよう検討をすすめる。
山王	明るい未来、夢を持てるような計画にしてほしい。日本の課題を地方から打破できるような市にしてもらいたい。	市民等に分かりやすく、共有できる計画を策定し、引き続き様々な施策を展開する。
江名子	子どもや後継者が減っている。働きやすい場づくりが必要である。	サテライトオフィスの誘致をすすめており、特に市外に依存しているIT産業などの誘致に力をいれていくなど、若者が働ける環境の整備をすすめる。また、市内企業へのセミナーなどを開催するなど働き方改革を推進する。
江名子	子どもを産みやすい、育てやすい環境づくりが必要である。	子育て世代の経済的・精神的負担などを軽減し、子どもを安心して生み育てることができるよう施策を展開する。
江名子	子どもが安心して遊べる場所が地域に少ない。	具体的な公園を整備する予定はないが、既存の公園の利用環境の向上や利用促進を図る。
江名子	観光以外の多様な産業の誘致にも力を入れてほしい。	サテライトオフィスの誘致をすすめており、特に市外に依存しているIT産業などの誘致に力をいれていくなど、若者が働ける環境の整備をすすめる。
江名子	市内は外国人観光客で多く賑わっているが、社会情勢などで入込数が左右されるため、移住者を増やすまちづくりをすすめるべきである。	「地域産業の担い手確保と生産性の向上」などのまちづくり戦略に基づき、地元就労やUIJターン、移住の促進を図る。
江名子	今後人口が減少する中では、人口構造も変わり、町内会に入らない人が増えることが懸念され、地域の担い手や活動の継続が心配である。	人口減少や少子高齢化により今後更に町内会をはじめとする地域活動の担い手が不足することは重要な課題と捉えている。町内会加入については引き続き町内会連絡協議会と連携し加入促進に努めるとともに、地域活動を支える人材の育成を図る。
江名子	子どもや若者が地元の仕事を知らないことへの対策や学校での地元就職に対する働きかけが必要ではないか。また、Uターン者への支援を手厚くすべきである。	中学生や高校生の職場体験の充実や高等学校等卒業生の地元就職に対する支援など、市内の企業、仕事に触れる機会の創出により、若者が就労先として市内企業を選択しやすくなるしくみづくりに取り組む。現在若者定住や移住に対する支援を行っているがより効果的な支援となるよう見直しをすすめる。



地域 (地区)	意見	対応
江名子	地域内資金循環を事業者はどう浸透させていくのか。	産業振興計画において経済の好循環に向けた基本的な方向性や考え方、役割などを分かりやすく示すとともに、市民や事業者、産業関連団体などへ取り組みの必要性の理解と協力を促進する。
江名子	今後、年少人口が減ると公園利用者も減るため、地域で管理する公園の使用目的の変更などについてどう考えているか。	地域で管理していただいている児童遊園などを含め、配置など公園のあり方について検討する。
江名子	のらマイカーやまちなみバスの利用者が少ない。観光客にも地域に足を運んでもらいながら、住民も利用しやすい工夫を考えてほしい。	公共交通の総合的な見直しについて検討をすすめ、交通弱者の移手段の確保とともに観光利用も含めた利便性の向上を図る。
江名子	観光客が求める古き良きまちや郷愁といった高山らしさが失われていく気がする。高さ制限や色彩の規制はないのか。	都市計画による高さ制限や景観計画による色彩等の規制を行っている。景観に配慮した看板設置や生けがき・板塀等の設置に対する助成などにより、景観の保全に引き続き取り組む。
江名子	図書館「煥章館」運営委託は市外事業者であり、地域内資金循環をすすめるためには市内事業者を活用し、ノウハウを蓄積してサービスも高めるべきである。	現在の指定管理者は、国内における管理実績の豊富な事業者であり、本市においても安定した管理・運営を評価している。昨年度、指定管理者を募集したが、現指定管理者以外の応募はなかった。なお、従業員はすべて地元雇用であり、市内事業者と連携した管理・運営が行われている。
江名子	小中学校建設の設計が市外事業者であり、積雪等に配慮した設計でなかったり、資金の流出にもつながると思う。市内事業者を使うことは、事業者を育てる意味でも重要である。	学校施設改修等に関する設計業務は、原則市内業者を指名している。引き続き地元優先発注に努める。
江名子	ペレットストーブが市内の小中学校に導入されたが、コストやメンテナンス作業の面でどうだったのか。	学校施設では、大規模改修等に併せ、順次ペレットストーブへの切り替えを実施している。コスト面では、学校施設全体の燃料費は減少傾向である。メンテナンス面では、残灰の処理など一部手間はかかるものの、機種改良により操作性が向上している。
江名子	高校生が進学、就職で外へ行くことは止められないので、Iターン者を増やすことに取り組んでほしい。	中学生や高校生の職場体験の充実や高等学校等卒業生の地元就労に対する支援など、市内の企業、仕事に触れる機会の創出により、若者が就労先として市内企業を選択しやすくなるしくみづくりに取り組む。現在若者定住や移住に対する支援を行っているがより効果的な支援となるよう見直しをすすめる。
江名子	高山厚生病院は縮小し、高山赤十字病院でも循環器系の医者がいなくなると聞いた。奨学金や地域枠などの制度を市でも導入してはどうか。	医学生の修学資金については、県と共に岐阜大学医学部の「地域医療コース」修学に対し支援している。そのほか学生の市内病院実習に対する助成など、地域医療の確保に向け、引き続き様々な施策に取り組む。
江名子	拠点やコンパクトシティを目指すためには、画期的な移手段を考えてほしい。	新たな技術の活用も含めて、公共交通のあり方について検討をすすめる。
江名子	都市連携軸を設定する中で、長野県方面へのアクセスを向上させてほしい。	中部縦貫自動車道の長野県側について、引き続き事業促進に向けて働きかけていく。
江名子	土地利用区分図を見ると森林・山間区域が多い。今後放置しておく大きな災害の原因となることもあるので、手入れをすべきである。	今後、民有林を木材生産区域と環境保全区域に分け、それぞれの機能に応じた森林整備をすすめることで、水源かん養機能など森林の多面的機能の維持・向上を図る。

地域 (地区)	意見	対応
江名子	郷土の魅力や魅力的な職場を子どもたちにしっかり伝えていくことが大事である。	子どもたちに歴史文化、自然、地域の仕事体験などを通じて地域への誇りや愛着を育む郷土教育を引き続きすすめるとともに、中学生や高校生の職場体験の充実など、市内の企業、仕事に触れる機会の創出に取り組む。
江名子	煥章館へ避難をしようとしたら違う地域だからだめだと断わられた。	防災訓練等の機会を通じて、避難者(受入)を地域内居住者に限定することのないよう周知徹底を図る。
江名子	まちづくり協議会や町内会などの活動の必要性をしっかりと市民に伝えるべきである。	協働のまちづくり及びまちづくり協議会、町内会などの活動の必要性と重要性について引き続き周知を図る。
新宮	地域の子どもたちの環境を良くするための、学校と地域との連携による取り組みについての位置付けが必要ではないか。	「夢と誇りとやさしさにあふれる人の育み」というまちづくり戦略に基づき、学校と地域の連携に取り組む。来年度からスタートする学校運営協議会において、地域の子どもたちをどう育てていくのか協議する中で、学校や地域等の役割分担などについて、熟議を重ねながらより良い方向となるよう検討する。
新宮	市道旅行村線が国道158号につながる予定となっており、更なる利便性向上のため、国道158号の改良促進について加えたらどうか。	中部縦貫自動車道高山IC開通に伴って、現状では国道158号の渋滞は緩和されていると判断している。旅行村線整備後の道路状況を考慮しながら、道路管理者である県と協議する。
新宮	営農活動の安定、強化について、有害鳥獣の対策を加えてほしい。	地域のまちづくりの方向性では、主な内容を記載しているが、鳥獣被害防止対策についても実施し、地域と協議しながら被害縮小に向けて取り組む。
新宮	車検場の一体は企業が多く立地しているため、商工業集積区域でもよいのでは。	商工業集積区域は、工場や流通業務施設等を集積する区域としているが、当該地区は住宅の立地状況からみて、そういった区域には含まれないと考える。
新宮	国道158号沿いの田園区域は、住宅地化が予測されるため、新宮神社の付近まで郊外住居区域としてもよいのでは。	周囲の農地について保全を図る必要があるため、田園区域のままとする。
新宮	地域で考えられる課題にある町内会の加入率が低いことについては、全体の話ではなくアパートや高齢者施設の多い新宮町の一部の地域だけと認識している。	全域のことではないことは理解しているが、地域との意見交換において出された内容であるため、記載内容は変更しない。
新宮	人口減少に対して、人口を増やす政策を最重要課題として取り組んでほしい。	人口減少対策は、非常に重要な課題であると認識している。移住や地域経済の活性化、子育て支援など引き続き様々な施策を展開する。
新宮	市内の病院で特に循環器系などの手術が受けられない。現実に医療体制は低下しており「安心して医療を受けられる地域医療体制の保持」については、保持ではなく向上や充実としてほしい。	市内に必要な医療を受けられるよう、市の中核病院長とともに、大学や近隣県の病院に対して医師の派遣を要請しているが、全国的に医師不足が進んでいるため、対応が難しい状況である。引き続き要請・要望を続け、安心できる医療提供体制の確保に努める。計画の表現については、「保持」から「確保」に修正する。

地域 (地区)	意見	対応
新宮	担い手育成やブランドの向上のため、地域ブランド関係の従事者への優遇策などを考えてはどうか。	経営者の高齢化や後継者不足による廃業が増えることで、飛騨高山ブランドを支える事業者が持つ技術や市場からの信頼等が失われていくのは、大きな課題であると捉えており、官民が連携して事業承継の取り組みを推進するとともに、後継者が不足している産業の後継者育成・確保の取り組みへの支援策の充実を図る。
新宮	原山市民公園や松倉シンボル公園について、老朽化対策とともに市民の憩いの場としての更なる活用を考えてほしい。	利用者の安全確保のため、施設管理者と調整しながら修繕等を行っていく。また、飛騨の里も含めて一つのゾーンと捉え、その活用について地域と一緒に考えていく。
新宮	原山の管理棟について、まちづくり協議会の事務所としての活用ができるように考えてほしい。	施設の性格上、課題があるため、有効活用の方法について検討する。
新宮	大学を出た若者や地域で働く人たちにとって、夢と希望が持てる高山でないといけない。	若年層が夢や希望がもてるよう、引き続き様々な施策を展開する。
三枝	特に山間部では農地の荒廃がすすんでいる。農地の活用についてどのような対策を考えているか。	農家へのアンケートなどを通じ、農地を手放したい方と利用したい方を結びつけるなど、農地の有効活用を図る。
三枝	三枝地区は堤防の下に住宅地があり水害に対し不安である。防災対策はどのように考えているか。	「安全への備えと災害時の対応強化」というまちづくり戦略に基づき、様々な防災対策に取り組む。急傾斜地の崩壊対策は県と連携して取り組んでおり、引き続き推進する。
三枝	厚生病院や福祉施設などの公益施設が多く立地している地域であり、営農環境も大切にしながら、こうした施設の集まる場所として土地利用を図ってほしい。	高山IC周辺においては、営農環境との調和を図りながら、交通の利便性を活かした施設などの立地の促進を図っていく。
三枝	冬頭町は田園区域になっているが、住宅が増えてきており、住居系の区域の方が望ましいのではないか。	現状の土地利用と将来的な土地利用を勘案し、郊外住居区域に変更する。
三枝	三枝校下を田園区域としたのはいいことである。農業振興地域以外の水田も雨水の貯留などの機能があるため、できるだけ宅地化しないでほしい。	田園区域として適切な農地の保全に努める。
三枝	旭ヶ丘町から三枝小への道路整備をお願いしたい。	引き続き検討する。
三枝	映画館がなくなるなどの状況の中、全市民的な話として若者が楽しめる娯楽が必要ではないか。	現在、市民文化芸術鑑賞事業において、ワンコインシネマという事業を実施している。また、若者等活動事務所（若者がまちなかに集い様々な活動を通じて飛騨高山への誇りと愛着を育む施設）を整備し、若者による地域活性化を推進する。高山駅西地区における多くの市民が集い、賑わい、安らげる空間とであい・ふれあいの場の創出など、若者にも魅力あるまちづくりをすすめる。
三枝	人口は減少しているのにアパートの建設は増加している。市として歯止めはできないか。	適正な手続きを踏めば建設できるため規制は難しい。土地利用の方針に基づき、住居区域への立地集積を図っていきたい。

地域 (地区)	意見	対応
三枝	市街地中心部の方が市の支援が手厚いと感じる。	市の中心部は都市機能の集積地として位置付けており、引き続き都市拠点機能を高める。ただし、各地域における取り組みも大切であることから、今回の総合計画の見直しにおいて、新たに地域のまちづくりの方向性を示し、推進することとしている。
三枝	観光に対する予算が大きすぎるのではないか。	本市において観光関連産業は、資金を市外から獲得している基盤産業であり、観光関連産業が成長することにより、経済の好循環につながると考えられることから、引き続き観光振興の取り組みを推進する。 なお、観光関連産業のみに依存することが無いよう、他の産業の強化や新たな産業の創出に努める。
三枝	外国人観光客の増加による住民生活への影響への対策を考えてもらいたい。	「既存産業の強化と新たな産業の創出」や「文化芸術・スポーツ活動等による心の豊かさの創出」などのまちづくり戦略に基づき、外国人観光客の受け入れ体制の強化や多文化共生の推進に向け、様々な施策に取り組む。 また、地域資源を活かした広域的な連携などによる滞在型観光地づくりをすすめ、市街地中心部に集中する観光客の分散化に努める。
大八	ごみの減量化に真剣に取り組むべきである。	食品ロスやプラスチックごみの削減など、ごみ減量化に向けた取り組みを今後もすすめる。
大八	行政の役割として、命をつなぐ、健康を守ることが基本。安全・安心の視点を大切にしてもらいたい。	「心身が健康で安心して暮らし続けられる社会の実現」というまちづくり戦略に基づき、安全・安心なまちづくりに取り組む。
大八	ごみの適正処理など、生活環境の確保のための取り組みにもう少し真剣に取り組んでほしい。	現ごみ焼却施設の老朽化が進んでいるため、施設の適正な維持管理及び新ごみ焼却施設建設に向けた取り組みをすすめる。
大八	他の自治体をまねるのではなく、予防的対応をすすめる必要がある。	様々な施策の立案にあたっては、予防という視点も考慮している。他の自治体の取り組みについては、検討を行う上での参考としている。
大八	地域のまちづくりの方向性をすすめるにあたり、地域や行政などの役割分担はどのように考えているか。	事業内容によって、それぞれの役割は異なる。地域のまちづくりの方向性を市と地域住民組織など多様な主体が共有することが大切と捉えている。
大八	これまでの5年間の成果、課題などはどう捉えているか。	毎年度の事業評価、昨年度の施策評価の結果（ホームページで公表）などを踏まえ、政策の検討を行い、今回の見直しをすすめている。計画の推進により、課題が解決し、成果として市民が実感できるよう、引き続き努力する。
大八	それぞれの施策の進捗管理をしっかりと行い、地域での報告など具体的にわかるようにしてほしい。	毎年度、事業評価を実施し、進捗管理を行っている。成果や課題などについて、地域と情報共有を図るよう努める。
大八	東山台など、ごみ処理施設の付近が郊外住居区域に指定されている。居住をすすめる地域にごみ焼却処理施設を建設するのは理解できない。	ごみ処理施設は市民の生活に欠かせない施設であり、郊外住居区域に必ずしも建設できない施設ではないと考える。
大八	大規模な災害では大量のごみを処理する必要があり、ごみ処理場には広い敷地を確保する必要がある。	災害時は大量のごみの発生が想定されることから、災害廃棄物を1か所に集中させるのではなく、状況に応じて各所に仮置場を設置して対応する必要があると考えている。

地域 (地区)	意見	対応
岩滝	地域コミュニティの担い手不足が深刻であり、まちづくり協議会と町内会組織の統合などによる役員負担の軽減を考えている。市としてはどのような対応を考えているか。	町内会組織のあり方などの検討の必要性は認識しているため、協働のまちづくり推進会議や町内会連絡協議会等で引き続き検討する。
岩滝	地域のまちづくりにおいて、棚田の保全とあるが、実際のところ荒廃している農地もある。保全に向けた手立てはないか。	農業振興のため引き続き様々な施策を展開するとともに、景観重点区域における保全活動への支援をすすめる。
岩滝	飛騨高山スキー場のリフトが1台故障している。スキー場の管理はどうなっているのか。	飛騨高山スキー場は、国立乗鞍青少年交流の家が存続する期間は、研修のためのスポーツ施設として必要であるため、引き続き市による管理・運営を行う。
岩滝	総合計画では具体的な取り組みが見えてこないが、具体的な取り組みについて、知る機会や意見を聞く機会はあるか。また、産業などの団体と協議する場はあるのか。	総合計画の見直しにあたっては、昨年様々な団体との意見交換会を実施するとともに各種データなどを踏まえ課題を整理し、基本計画について今回説明したような概要とした。計画の詳細は、パブリックコメントを実施し、意見を募集する。また、具体的な内容は、実施計画や各分野の個別計画で示すとともに、各個別計画の策定等にあたっては、関係団体等の意見把握に努める。
岩滝	地域のまちづくりの趣旨の中で、2つの共通事項が示されているが良い考え方である。皆さんがこの気持ちを持っていれば、いい地域、いいまちになると思う。	安全・安心でいつまでも住み続けたいと思える魅力ある地域づくりに向けて、引き続きまちづくり協議会や市民活動団体、事業者、行政など多様な主体による協働のまちづくりを推進する。
花里	平湯地区を交通拠点として設定しているが、中部縦貫自動車道は丹生川までしか事業化されておらず、丹生川を交通拠点と位置付けるべきではないのか。	都市基本計画は30年後を見据えており、中部縦貫自動車道の延伸も考慮している。また、現在でも国道158号を通じて、長野県側への重要な幹線道路であるため、平湯を交通拠点としている。
花里	中橋には観光客が非常に多く、現状のままでは大きな事故が起きるのではないかと心配している。観光都市であり、しっかり対応すべきではないか。	観光特化型バス等の運行と郊外の駐車場の利用促進により、車両流入を減らす取り組みをすすめるとともに、周辺地域とも相談しながら中心市街地の交通対策を検討する。
花里	高山駅の周辺で外国人観光客が道に迷っている姿をよく見る。地図などの案内看板があるといい。	外国人観光客をはじめ、観光客が迷わない、分かりやすいサインなど案内を工夫する。
花里	まちづくり協議会でも総合計画を意識して活動をしていく必要があるが、市職員の協力や専門的な方のアドバイスを受ける機会、地域を牽引してくれる方の確保などの考えはないか。	専門家の派遣事業があるので活用いただきたい。協働のまちづくりを一層推進するため職員の関わりの強化に努める。
花里	大都市まで1時間以上かかる本市では、緊急時の医療体制を整える必要がある。中核病院の連携強化や機能分担などを市としても促し、市の医療水準を高める必要があるのではないか。	市の医療水準のあり方の検討は、重要な課題と捉えており、中核病院や医師会などとも連携しながら、安定かつ持続可能な救急医療体制の構築に努める。
花里	飛騨・世界生活文化センターで大きなイベントがあると周辺道路が大渋滞している。活用がすすみイベント等が頻繁となった場合に、周辺の道路環境を整える必要があるのではないか。	現在、周辺の道路改良は予定していない。今後の利用状況を考慮しながら検討する。

地域 (地区)	意見	対応
花里	バスの運行について、ネットワークを充実する考えがあるようだが、民間と協力して運行されていると思う。採算が取れるのか。	のらマイカー・まちなみバス、幹線バスなど様々な形態があるが、のらマイカー・まちなみバスは市が費用を出して運行しており、採算は取れていない。また、現在の路線、ダイヤは編成してから5年が経過しており、現在見直しを考えている。
花里	まちづくり協議会は、ボランティアの活動によって成り立っており、支援金の中で飲食や酒などの形で対価を払うことも考えてほしい。	まちづくり協議会への支援金は、性質上、酒宴には使用できないこととしている。また、対価をもらいながら日常の身近な困りごとに対応する有償ボランティアのしくみを導入しているまちづくり協議会の情報を提供するなど、より良いしくみづくりに向けて共に考えていく。
丹生川	市の財政は健全であり、基金などを十分活用した財政計画に期待する。特に、市民の所得が上がるような施策に取り組んでもらいたい。	必要な施策を実施しながら、行政改革などに取り組み、健全な財政基盤の構築を図っている。長期的な財政見通しを考慮しながら、基金の活用を含め、歳入の安定的な確保と歳出の適正化に取り組む、持続可能な財政運営を行う。 また、地域経済の好循環を実現するため、様々な施策をすすめながら、市民所得の向上を図る。
丹生川	「コンパクトな拠点」とあるが、地域拠点などに居住を集約していくという考えか。	生活利便施設等を集積することにより、生活サービスが身近に利用できる環境を構築するということである。
丹生川	人口推移などを見て、今後の地域のあり方を地域、町内などでしっかり話し合っていく必要がある。今回の意見交換をきっかけとして地域をどうしていくのか、市も地域も共に考えていきたいと思う。	同様の考えであり、地域の振興のため、協働・連携して取り組む。
丹生川	郊外住居区域となっている町方・坊方でも、農業振興地域があり、規制の緩和なども含めどのような対応をしていくのか。	農業振興施策との連携を図り、現行の見直しについて協議・検討をすすめる。
丹生川	少子化がすすむ中、小学校の再編などの見直しはあるか。小学校と中学校が同一校区の方が小中連携がしやすいため、高山地域で再編する見直しはあるか。	小・中学校の適正規模・適正配置に向けた検討をすすめる。
丹生川	町内会で管理する児童遊園の整備をするのに以前あった補助金がない。子どもが安全に遊び、絆をつくる大事な場であり、支援をお願いしたい。	町内会等が管理する児童遊園の遊具設置に対する支援を行うとともに、空き店舗など屋内施設を利用した子どもの遊び場の設置に対する支援を検討している。
丹生川	地域と市街地を結ぶ公共交通の充実をお願いしたい。	現在、見直しを検討している。見直しの際には、路線やダイヤ、停車位置など地域と相談させていただく。
丹生川	市民アンケートでは、「暮らしにくい」理由が、道路・交通、買い物、雇用、レジャーが上位である。これらを改善していくような政策に期待する。	引き続き様々な施策を展開し、改善に努める。
丹生川	中部縦貫自動車道の丹生川—平湯間は広域連携軸として示してあるが、ルートは決定したのか。	詳細なルートまでは決定していない。
丹生川	地域の担い手、若者の確保が課題である。郷土教育の推進などにより、戻ってくる若者を増やすなど、確保に向けた施策をすすめてもらいたい。	現在、若者定住や移住に対する支援を行っているが、より効果的な支援となるよう見直しをすすめる。

地域 (地区)	意見	対応
丹生川	地域のまちづくりの方向性に記載している内容をすすめるにあたり、まちづくり協議会が担っていくという考えか。	市民や地域住民組織、事業者、行政などが協働し取り組んでいく方向性としている。取り組みにあたっては、それぞれの役割分担の中ですすめる。
丹生川	丹生川地域の人口の維持が必要であり、そのためには、郊外住居区域が住みやすい、よい地域にしていく必要があると考えている。	生活利便施設の立地や公共交通によるアクセスの向上により、利便性の向上を図っていく。
丹生川	丹生川町北方法力景観重点区域の景観を維持していくためには、第1次産業の振興が必要である。	農業振興のため引き続き様々な施策を展開するとともに、景観重点区域における保全活動への支援をすすめる。
丹生川	合併前には、農業と観光が調和する村づくりをすすめてきており、地域の概要もその順にしてもらいたい。	記載の順序を変更する。
丹生川	農業については、国がすすめている取り組みも必要であるが、市独特の施策も考えていく必要がある。丹生川地域では被害は聞こえていないが、サルの獣害被害防止を行うなど予防的な事業にも取り組んでほしい。	引き続き、被害防止施設の整備や狩猟者・捕獲技術者の育成・確保などにより、鳥獣被害防止対策を推進するとともに、本市の農業振興のための様々な施策を展開する。
丹生川	まちづくり協議会が地域の核として重要な役割を担ってほしい。	安全・安心でいつまでも住み続けたいと思える地域づくりに向けて、地域の主体的な取り組みに対し支援を継続するとともに、地域と協働・連携した取り組みをすすめる。
丹生川	地域の活性化のために丹生川地域としても努力をしていく。行政の応援もお願いしたい。	地域と協働・連携した取り組みをすすめ、地域の活性化につながるよう努力する。
丹生川	乗鞍は市のシンボルであり、自然に親しめる場として入込数を増やす施策をお願いする。担い手の確保や経済効果も大きいと思う。	乗鞍岳を含めた中部山岳国立公園の活性化に向け、国、県などと連携して取り組むほか、飛騨山脈ジオパークの登録に向けた取り組みを加速する。
清見	見直しによって、どのようなことに取り組むのか。	仕事の充実と産業の振興、暮らしの安心と人材の育成、まちの基盤の構築を基本的な考え方として取り組む。具体的には、実施計画において、重点的に取り組むべきことを重点事業として示し、取り組む。
清見	具体的な施策を示し、実行してほしい。	実施計画において、重点的に取り組むべきことを重点事業として示し、取り組む。
清見	全ての地域を同じ環境に整えていくことは困難と書いてあるが、どのように地域のまちづくりをすすめていくのか。	地域の特徴などを活かした地域ごとのまちづくりの方向性を示し、市民や地域住民組織、事業者、行政などが協働し取り組みをすすめる。
清見	拠点エリアに機能を集積するとあるが、地域に1カ所では少ないのではないか。	地域特性により拠点が1カ所の地域と複数の地域があるが、拠点と各集落とをネットワークで結び、公共交通等により生活サービス施設などにアクセスできるまちづくりをすすめる。
清見	拠点エリアの機能を高めてほしい。	日常生活に必要なサービスや行政サービスの充実、交通結節機能の強化などを図る。
清見	地域のまちづくりをすすめるにあたっては、支所も協力してまちづくり協議会を支えてほしい。	地域のまちづくりをすすめるにあたっては、支所はもちろんのこと、本庁所管課も地域の様々な課題などを共有し、取り組みの実践や課題の解決に向けて、まちづくり協議会と協働・連携して取り組む。

地域 (地区)	意見	対応
清見	荒廃農地を防ぎ農地を守ることや担い手確保に力を入れてほしい。	農家へのアンケートなどを通じ、農地を手放したい方と利用したい方を結びつけるなど、農地の有効活用を図る。県やJAなど関係機関と連携し、担い手の確保に努める。
清見	スマート農業や大型機械の助成を合併以来受けたことがない。記載内容を見直すべきではないか。	今後の農業の振興には、AIなどを活用したスマート農業や農地の集積・集団化、作業効率の良い大型の機械などの導入による省力化が必要であることから記載をしている。
清見	堆肥の処理に困っており、なんとかしてほしい。 耕畜連携などの調査のアンケートが来たが、早急な対応を取ってほしい。	堆肥処理、耕畜連携に向けたアンケートの結果を踏まえ、JAと連携しながら活用について検討をしている。 堆肥処理、耕畜連携のしくみづくりについて早期対応に努める。
荘川	荘川小中学校の複合化整備について、公共施設等総合管理計画の意見交換会では5年以内に実施するとの説明を受けた。また、保小中公表会では、義務教育学校としての体制が整っているとされた。ハード面、ソフト面の進捗状況と今後の予定は。	義務教育学校も視野に入れた施設一体型の学校整備に向け、地域と協議しながらすすめる。令和5年度～令和6年度の整備を予定している。
荘川	新聞に平成の大合併は過疎の促進と書かれていた。平成17年の市町村合併について、どのように捉えているか。	合併以降、一体感の醸成に向けた取り組みをすすめるとともに、多様な地域資源や地域特性を活かした個性あるまちづくりを推進してきた。市民サービスの向上や地域振興、行財政運営の効率化など一定の効果があつたと捉えている。
荘川	支所地域の人も金も高山地域に集まっている。村時代の予算は20～30億円だったが、今は1億円にも満たないくらいしか支所地域で使われていないのではないのか。合併の検証をしてほしい。	合併以降、一体感の醸成に向けた取り組みをすすめるとともに、多様な地域資源や地域特性を活かした個性あるまちづくりを推進してきた。市民サービスの向上や地域振興、行財政運営の効率化など一定の効果があつたと捉えている。
荘川	荘川の観光施設を今後どのようにしていくのか教えてほしい。	公共施設等総合管理計画の考え方にに基づき、各施設について対応する。観光施設をはじめ地域資源を活かした広域的な連携による滞在型観光地づくりをすすめる。
荘川	荘川には市の管理する施設が多い。行政がうまく活かして地域が発展するような取り組みは行われるのか。	地域振興という点も踏まえながら、公共施設等総合管理計画に基づき、適正な管理・運営に努める。
荘川	荘川の里を飛騨ん爺に関わる施設として活かすことや、そばの里荘川の交流施設を活用することなどを考えてほしい。	荘川の里については、地域の歴史などの魅力を発信しながら更なる誘客に向けて引き続き管理・運営する。また、そばの里荘川については、公共施設等総合管理計画の考え方にに基づき、レストランについては、民間へ譲渡、交流施設については、有効活用を図る。
荘川	市外のやる気のある若者を呼び込んで活性化できないか。もう少し具体的に荘川の取り組みを示してほしい。	地域のまちづくりの方向性においては、資源や特性を考慮したすすめるべき方向を概念的に示す。まちづくり協議会等とも連携しながら、地域資源の活用や地域の担い手獲得等に取り組む。
荘川	もう少し具体的に取り組みを示してほしい。	具体的な内容は、実施計画や各分野の個別計画で示す。
荘川	荘川は冬季の積雪が多く、特別豪雪地帯に指定されているので、対策を考えてほしい。	市道については、除雪計画に基づき適正な除雪に努める。



地域 (地区)	意見	対応
荘川	森林を適正に管理するためには、土地の境界を明確にする必要がある。重点課題として予算化し取り組んでほしい。	地籍調査や国の森林環境譲与税を活用した森林境界明確化事業に積極的に取り組んでいる。引き続き、推進する。
荘川	他地域の廃材や廃棄物を源流がある荘川に搬入されないよう、適切に対応してほしい。	地域の森林や水質などの自然環境を保全し、荘川地域の特色を活かしたまちづくりを継続していくため、住民の意見を審査機関である県に確実に伝える。 また、下流の関係自治体と連携して対応する。
荘川	林道や作業道の維持管理ができていない。適正に管理しないと災害につながる。	市が管理する林道は、パトロール等を行い、必要な維持管理を行っている。 作業道の管理は、原則として受益者管理となるが、修繕に対する県の補助制度があるため活用いただきたい。
荘川	今後は人口減少が課題である。	人口減少対策は、非常に重要な課題であると認識している。移住や地域経済の活性化、子育て支援など引き続き様々な施策を展開する。
荘川	高齢化が進み、若者が戻ってこない。親の助言も欠けているが、家を継ぐ意識付けを市で推進できないか。	中学生や高校生の職場体験の充実や高等学校等卒業生の地元就労に対する支援など、市内の企業、仕事に触れる機会の創出により、若者が就労先として市内企業を選択しやすくなるしくみづくりに取り組む。また、郷土に対する誇りと愛着の醸成、地域アイデンティティの形成をまちづくり戦略の重視すべきポイントとして掲げ、郷土教育の推進などに取り組む。
荘川	人口が減少し、事業承継が深刻な問題となっている。これからは、田舎の魅力をアピールし、市外から人を呼び込まなければならない。冬は雪が多いので、夏だけでも来てもらい、インターネットで仕事ができれば、その後の移住につながる可能性がある。起業や居住に対する補助制度があれば教えてほしい。	住宅支援や起業・就業支援制度の市内外への周知を図るとともに、地域の豊かな自然環境等を地域の魅力として発信することで、移住者はもちろんのこと、二地域居住をはじめとした関係人口の獲得を推進する。
荘川	市内に住民登録をしていないと、市内の学校に通うことはできないのか。その他教育に関する新たな取り組みは考えているのか。	住民登録が無くても、いじめ、通学の利便性、部活動等を理由として保護者が申し立てを行い、教育委員会が認める場合には区域外就学が可能である。また、海外からの体験入学についても、希望があれば原則として1ヶ月以内で受け入れを行っている。 新学習指導要領の全面実施に向けたICT教育の充実など、教育における様々な施策を実施する。
荘川	土地利用の区分設定の図面には、国有林も表示した方が分かりやすいのではないのか。	土地利用の方向性を示す目的で表示しており国有林のみでは表示していない。
荘川	荘川の小中学校の複合化にあたり、地域でどのような子どもを育てていくのかについて意思統一が必要と言われたが、具体的に何をすればいいのか。他にも地域ですべきことがあれば教えてほしい。	来年度からスタートする学校運営協議会において、地域の子どもたちをどう育てていくか、どのような取り組みをすすめるか、学校・地域・保護者などとともに協議する。 小中一貫教育や義務教育学校での教育課程のあり方など、熟議を重ねながらより良い方向となるよう検討する。
荘川	荘川の小中学校の複合化整備においては、保育園、福祉施設も入れるよう予定されているのか。	荘川保育園や荘川福祉センターの整備については、小・中学校の複合化整備と合わせ検討する。

地域 (地区)	意見	対応
一之宮	公共交通のデマンドタクシーについて、高山地域まで運行してもらおうよう要望したが、難しいとの回答だった。一方で計画では公共交通の向上となっている。整合が図られているのか。	運行エリアのあり方や路線など、公共交通の総合的な見直しについて検討をすすめる。
一之宮	モンデウス周辺にサッカー場整備の構想があると聞くが、その周辺の道路整備を含む開発内容を教えてほしい。	サッカー競技場については、整備目的、求められる機能、必要な規模や内容等についての検討にあわせ整備候補地の選定に取り組んでいる。できるだけ早い時期に整備場所を決定し、地域のご意見を伺いながら整備をすすめる。
一之宮	今後情報通信は重要となるが、支所地域では、1社のみのため複数企業の光ケーブルが整備されるような支援も必要ではないか。	情報通信の重要性は認識しており、国においては情報通信における新たな技術の導入などにも積極的に取り組んでいる。市としても国や企業の動きを注視しつつ研究をすすめる。
一之宮	防犯カメラの設置について、地域で設置するものに助成する制度があるが、本来地域ではなく国や市が実施すべきである。	地域での見守り活動や防犯パトロールなど人の目による活動などを補完する目的で防犯カメラ設置に対する助成をしている。公共施設についてはプライバシーの保護などに配慮しながら必要に応じて整備する。
一之宮	一之宮の地域のまちづくりの方向性に、以前より話している公園の整備について、ぜひ入れてほしい。	地域のまちづくりは、各地域の特徴などを活かしたまちづくりの方向性を示している。新たな公園整備については、市全域の中で検討する。
一之宮	まちづくり協議会の位置づけが分からない。条例のような定めがないと、場合によってはなくなることも考えられる。位置づけが担保されるものが、早期に必要なではないか。	人口減少や少子高齢化の進展により起こりうる難局を乗り越えるためには、まちづくり協議会なくしては成り立たないと考えている。まちづくり協議会だけでなく市民活動団体や事業者等、多様な主体による協働のまちづくりの一層の推進に向けて、条例制定等を含め検討をすすめる。
一之宮	地域の資源や特徴として位山が位置付けられている。スキー場経営が大変な状況である。市民のスキー場として、あるいは登山も各地から多くの方に来ていただいているので残していきたい。	スキー場については、利用者数の推移など現状を踏まえるとともに地域の意見を聞きながら、今後のあり方を検討する。
一之宮	人口減少は、全国的な問題であり、地域のみでの取り組みではできない。子どもを増やすなどの方針はあるのか。	子育て世代の経済的、精神的負担などを軽減し、子どもを安心して生み育てることができるような様々な施策を展開する。
一之宮	八次総は、高山らしさが感じられない。メリハリがない計画である。	市の現状や今後の見通しなどから、課題、求められていることを把握し、まちづくりの方向性やまちづくり戦略を設定している。総合計画の見直しでは、選択と集中を意識し、まちづくり戦略において重視すべきポイントを示すとともに、実施計画において重点事業を示す。
一之宮	地域の声に買い物不便とあるのに、地域のまちづくりの方向性では出てこない。公共交通体系の見直しを早期にしてほしい。	買い物時等の交通手段の確保は、全市的な課題であるため、「利便性の高い都市機能とネットワークの構築」というまちづくり戦略に基づき、バスの運行エリアのあり方や路線など、公共交通の総合的な見直しについて検討をすすめる。
久々野	拠点の形成の根拠が分かりにくいので、明確に示してほしい。	今後の都市構造の基本的な考え方として、計画の中で拠点の形成についてわかりやすく示すこととする。

地域 (地区)	意見	対応
久々野	拠点の形成は重要なことなのか。その先に何があるのか。	久々野地域は、交通の重要な結節点であり、市の南部の拠点として、様々な機能を担う地域になると考えている。人口減少がすすむ中、様々な面で広域的な対応が必要であり、効率的かつ効果的に取り組むためには拠点の形成は重要であると捉えている。
久々野	久々野地域のまちづくり協議会の方針は、いつまでも住み続けたいと思うまちである。同じ方向ですすめるべきである。	地域コミュニティや共助などすべての地域に共通することは、まちづくり戦略に記載する。地域のまちづくりにおいては、地域の特性を活かした方向性を記載する。
久々野	スキー場（飛騨舟山スノーリゾートアルコピア）は地域のシンボリックな施設であるため、計画に位置付けられないか。	飛騨舟山スノーリゾートアルコピアについては、利用者数の推移など現状を踏まえるとともに地域の意見を聞きながら、今後のあり方を検討する。
久々野	女性の活躍、役割について、計画に入れてほしい。	「多様な働き方に適応した労働環境の構築」などのまちづくり戦略に基づき、女性が活躍する社会を推進する。また、男女共同参画基本計画に基づき、引き続き様々な施策に取り組む。
久々野	人口をこれ以上減らさないようにすると表記できないか。	日本全体で人口減少がすすむ中、現状の人口を維持していくことは困難と捉えているが、引き続き様々な施策を展開し、人口減少の抑制に努める。
久々野	目指す都市の姿に「住居等がまとまって立地」の記載があるが、離れて住んでいる人はどうなるのか。	拠点と各集落とをネットワークで結び、公共交通等により、生活利便施設などにアクセスしやすいまちづくりをすすめる。
久々野	山林の作業道の維持費は地元負担なので、100年先の森林づくりをすすめるにあたり、将来を見据えて軽減してほしい。	県の補助制度があるため活用いただきたい。市による支援の必要性は、引き続き検討する。
久々野	市街地は外国人が増えている。誘客に関すること、マナー・治安への取り組みなども示してほしい。	「既存産業の強化と新たな産業の創出」や「文化芸術・スポーツ活動等による心の豊かさの創出」などのまちづくり戦略に基づき、外国人観光客の受け入れ体制の強化や多文化共生の実現に向け、様々な施策に取り組む。
久々野	本町の鍛冶橋から弥生橋までの間のほとんどの店舗が営業していない。課題として取り上げるべきではないか。	宮川左岸（本町側）において、賑わい創出の拠点の整備をすすめ、宮川周辺の商業活性化を図る。また、商店街の新たな支援策について検討する。
久々野	地すべりなど災害時の対応は、発生前から努めるよう示してほしい。	「安全への備えと災害時の対応強化」というまちづくり戦略に基づき、様々な防災対策に取り組む。急傾斜地の崩壊対策は県と連携して取り組んでおり、引き続き推進する。
朝日	総合計画の5年間の取り組み結果をどう捉えているか。	これまでの取り組みに対する検証は、毎年の事業評価のほか、昨年度外部有識者による施策評価などを実施した（ホームページで公表）。それらから見えてくる課題などを踏まえ、今回の見直しを行っている。
朝日	地域の商店が無くなり、若者が地域から流出している。地域の魅力もなく経済的にも苦しい。市は朝日のために何ができるのか新たな方法を考えてほしい。	地域のまちづくりでは、市民、地域住民組織、事業所、行政など多様な主体が同じ目線にたって取り組むべきことを示している。市も地域とともに協働しながら地域の振興を図る。
朝日	今後、朝日に子どもが戻ってきてくれるようなことを行政として計画に盛り込んでほしい。	地域のまちづくりでは、市民、地域住民組織、事業所、行政など多様な主体が同じ目線にたって取り組むべきことを示している。市も地域とともに協働しながら地域の振興を図る。
朝日	計画に数値目標は示されないのか。	政策を検証できる指標を設定し示す。

地域 (地区)	意見	対応
朝日	地域コミュニティの維持はどのようなことを考えているのか。具体的なことが分からない。	地域への誇りや愛着、共助の精神を育むこと、支え合いながら地域防災や子どもの育み、高齢者の見守りなど、安全・安心な地域づくりをすすめることを考えている。まちづくりのための活動への支援を継続しつつ、まちづくり講座や協働のまちづくりフォーラム等を通じた地域活動の担い手の育成、町内会機能の維持・強化などに取り組む。
朝日	市外からの資金の獲得はどのように行うのか。	市外から資金を獲得している基盤産業のさらなる成長を促すほか、市外に依存している情報関連産業やクリエイティブ産業等の立地を促進する。
朝日	市外からの人材の獲得はどのように行うのか。	「地域産業の担い手確保と生産性の向上」などのまちづくり戦略に基づき、地元就労やUIJターン、移住の促進を図る。
朝日	長野県泰阜村の郵便局では、行政のほぼすべての窓口業務を代行している。高山でも郵便局やJAでできないか。秋神郵便局でも一部は行っているがもう少し充実できないか。	窓口業務改革として、市内郵便局との意見交換を行っている。 市民の皆さんにとって利便性の高い窓口のあり方について、引き続き検討する。
朝日	地域のまちづくりの方向性に取り組みが書かれているが、誰が取り組むのか。市と地域で一緒に取り組むのなら費用は誰が負担するのか。	市民や地域住民組織、事業者、行政などが協働し取り組んでいく方向性としている。取り組みにあたっては、費用負担も含めそれぞれの役割分担の中ですすめる。
朝日	まちづくり協議会への支援金に事務局の人件費も含まれるが、人件費は別にするか職員が担ってほしい。	まちづくり協議会事務局については、人材や雇用条件等を地域で決めたいとの要望を踏まえ、地域審議会、社会教育連絡協議会、町内会連絡協議会の合意をいただき人件費を支援金に含めた経緯がある。円滑な事務局運営が図れる組織体制づくりに向けて、協働のまちづくり推進会議等で議論する。
朝日	まちづくり協議会は地域に必要なのか。市民のほとんどがまちづくり協議会のことを知らず、方向性も分からない。市ができないことを地域に任せられてもなかなかできない。権限やお金もない。	まちづくり協議会には少子高齢化等によって生じる様々な難局を乗り越えるため、住民自治を強化し、行政等と協働して身近な課題の解決に取り組んでいく役割を担っていただいている。地域の思いや実情を踏まえ、持続可能な地域づくりをすすめるために必要な組織と考えており、引き続き市が支援を行いながら、協働・連携して様々な取り組みをすすめる。
朝日	まちづくり協議会事務局は仕事が多いのに、地位、給料の保証がない。	事務局人件費の追加支援を行っているが、円滑な事務局運営が図れる組織体制づくりに向けて、協働のまちづくり推進会議等で議論をすすめる。
朝日	まちづくり協議会がスタートして5年間経過したが、地域からのさまざまな意見に対して真剣に対応しているとは感じられない。費用も不十分である。会議で出した意見に対してはすぐに対応し、結果を出してほしい。	地域の意見には支所と本庁所管課の連携のもと、早期に対応することとしている。なお、検討が必要な意見、課題等に対しては、協働のまちづくり推進会議等で早期解決に向けて議論する。
朝日	高齢化が進む中、自助、共助によるまちづくりは難しい。市の関わりを強く出してほしい。	更に高齢化が進んでいく中では、自助・共助の力を高め、日常生活での支え合いや災害時の対応などに取り組める体制を整えていただくことが重要と考える。市としても地域の主体的な活動への支援など協働・連携して地域づくりに取り組む。

地域 (地区)	意見	対応
朝日	高山市独自で自然に関する休暇日を作り、PRできないか。自然という土台を作ることで、地域を愛する気持ちが生まれ地元に戻って来ることにつながり、外国人も自然を求めて朝日にも訪れるようになる。	国民の祝日「山の日」を契機とした自然ガイドツアーや児童生徒を対象とした自然環境学習の開催など、幅広い年齢層の市民にふるさとの自然や歴史文化を体感いただく機会を設けており、今後も継続する。
朝日	在来工法による住宅が減少し、高山の風景が変わってきている。昔のままであればもっと観光が発展したのではないか。	昔ながらの町並みや農山村景観の保全については、景観計画や歴史的風致維持向上計画などに位置づけて取り組んでいる。引き続き、地域の方とともに景観保全に取り組む。
朝日	田んぼの生物の減少、地球温暖化、プラスチックごみによる海洋汚染などの環境の変化に対して、グローバルな視点で考えてほしい。	地球温暖化の抑制や地球環境の保全のため、二酸化炭素排出量の削減やごみの再資源化・減量化などの対策をすすめる。
高根	一目で印象づけられる分かりやすい計画書としてほしい。また、広報もコンパクトで分かりやすく、目を引く工夫をしてほしい。	市民の皆さんと共有できる分かりやすいものとなるよう工夫する。また、広報は総合計画に限らず、表現方法に留意するよう努める。
高根	支所をはじめ公共施設は、フレキシブルなレイアウトにするなど柔軟な利用ができるよう整備してほしい。	柔軟な利活用が可能な施設整備に努める。
高根	人口推計では、30年後には地域人口が約120人となる。地域のまちづくりでは高地トレーニングや農業振興などがあるが、地域住民の力だけでは不可能だと思う。何とかする方向性を考える必要があるのではないか。	地域のまちづくりの方向性において「関係人口の増加」を示している。歴史遺産や高地を活用した事業などを行いながら、交流から関係人口を糸口に地域の維持、活性化に取り組む。
高根	交流人口を増やすため地域でも雪合戦を開催するなどしているが、冬季間宿泊施設が閉鎖しており宿泊できない。何とかならないか。	陸上競技以外の種目の利用を促進するなどエリアを通年利用することにより、民間の宿泊施設が年間営業いただける取り組みをすすめている。また、高地での健康づくりをPRし、アスリートだけではなく一般利用の促進を図る。
高根	野麦峠の館が老朽化し、今年度で閉館すると聞いた。どのような状況なのか。	公共施設等総合管理計画の考え方にに基づき、野麦峠お助け小屋への機能集約を行い、野麦峠の館は廃止する。
高根	石仏や原家の活用などにより、交流人口の確保の取り組みをすすめようとしているが、行政の支援体制が不十分である。	地域の取り組みと連携しながら、地域の資源を活かした魅力ある観光地づくりを推進する。
高根	タカネコーンや火畑そばなどの生産者は高齢化しており、人口が減少する中、今後維持できるか不安である。	地域のまちづくりの方向性において「関係人口の増加」を示している。歴史遺産や高地を活用した事業などを行いながら、交流から関係人口を糸口に地域の維持、活性化に取り組む。
高根	高根地域では安心して暮らせる体制づくりとして、のくとい館の運営などを行っている。地域のまちづくりの方向性に、安心して暮らせるまちづくりを掲載できないか。	地域のまちづくりの方向性を修正する（高齢者が安心して生活できる環境の維持を追加）。
高根	地域によってまちづくり協議会と町内会の役割、分担などが異なっている。市としてどのような方向に向かうべきか、統一的な見解を出せないか。	まちづくり協議会代表者と町内会代表者との意見交換の場では、安全・安心して暮らせる環境づくりに向けて、目標や課題等を共有し連携して取り組んでいく必要があると確認されたところである。町内会の役割や在り方等については、町内会連絡協議会、協働のまちづくり推進会議において継続して議論する。

地域 (地区)	意見	対応
高根	人口推計の数値にはショックを受けた。この人数で地域を維持していくのは困難である。	地域の思いを尊重しながら、地域づくりをしていくことが大切であると考えている。地域として何をすべきか考えていただきたい。市としても連携・協力して取り組む。
高根	年間400万人の観光客が高根地域を通過するように誘導することはできないか。	石仏などの地域の資源の活用や、産品などの磨き上げを図るとともに、長野県木曾町等と連携した広域観光ルートを活用した誘客など、滞在型の観光地づくりをすすめる。
高根	高速バスの高山～東京路線は、平湯を経由している。数本でいいので高根を経由することはできないか。	民間事業者の運行路線であり、市が決めることはできない。意見については、高速バスを運行する事業者に伝える。
高根	阿多野郷周辺には広い農地もあることから、田園区域にすべきではないか。	農地の保全を図る区域として、田園区域に変更する。
高根	繁殖牛舎と関連設備の整備について、市としてどのようにしていく方針か教えてほしい。	繁殖牛舎整備の具体的な場所などは決まっていない。畜産業としては、高根地域には飛騨御岳牧場があり、夏の牧場利用と併せて農業との連携強化などの取り組みをすすめる。
高根	オリンピック・パラリンピックが来年開催されるが、高地トレーニングエリアの活用は継続して取り組んでもらいたい。	オリンピック・パラリンピックを契機として世界に高地トレーニングエリアをPRし、今後の利用促進を図る。
高根	地域プライド事業として、健康をテーマにした活用策を検討している。市としても重点に置いてほしい。	地域のまちづくりの方向性として示しており、市も地域と協働して取り組む。
高根	高根地域の公衆トイレが少ない。整備をお願いしたい。	中洞地内の道の駅飛騨たかね工房ほか、現在設置している上ヶ洞、小日和田、野麦地内の公衆トイレの利用状況などから設置の必要性を検討する。
国府	国府の文化財の適切な保存や、観光、まちづくりに活かせる拠点施設が欲しいと要望してきたが、総合計画に歴史遺産の保存、継承と活用を図りますと明文化されたことは良かった。整備をすすめてほしい。	市としても大事なことと捉え、方向性を示している。拠点施設については、市内の文化財の収蔵方法のあり方など踏まえ検討する。
国府	大規模農家への対応について記載されているが、景観の維持や土地の保全に貢献している小規模農家は畔の草刈りや用水の手入れまで手が回らない状況であり、小規模農家への支援も考えてほしい。	畔の草刈りなどによる農山村景観の保持なども重要であるため、経営規模の拡大とともに、小規模農家への支援も引き続きすすめる。
国府	計画している建造物の保存、継承だけでは不十分である。個人や神社、お寺が所有している文化財についても適正な管理ができるよう収蔵施設の整備についても具体的に記載してほしい。	市内の文化財の状況調査を行い、結果を踏まえ文化財の収蔵方法のあり方などを検討する。
国府	子どもたちが地域の歴史文化を学ぶための展示施設や学習施設がほしい。国府からの多くの出土物があるので、収蔵施設と合わせた拠点施設について計画に盛り込んでほしい。	市域全体として必要な整備について、検討する。
国府	「日本遺産」は国府にある遺産の一部であり限定的な意味となる。幅広く捉えられる「歴史遺産」に表現を変えた方がいい。	日本遺産構成文化財のみが重要とは考えておらず、様々な歴史遺産が重要であると捉えている。日本遺産に限定しない表現に修正する。

地域 (地区)	意見	対応
国府	土地利用区分の設定において、国府では郊外住居区域が広瀬町と三日町のみである。他の地域が住居地域に入っていないのはおかしいのではないか。	田園区域や山間区域も、それぞれ営農環境等と調和を図りながら良好な住環境を形成する区域としている。住宅地として特化した土地利用を図るところに対して郊外住居区域としている。
国府	農業の自給率は40%以下の状況が続いている。改善に向けて見直してほしい。	麦・大豆などの穀物類の自給率が低いことから40%以下に低迷しているのが現状である。高山では、麦・大豆は栽培に適していないため増やすことは難しいが、飼料作物など地元にとって効果的な作物については今後も栽培を促進する。
国府	目指す都市の姿に行政サービスについて書かれているが、住居区域に住まわせることが行政サービスなのか。	地域拠点と各地区とを結ぶ公共交通等の充実により、行政サービス等が利用しやすい都市構造を目指していく。
国府	地域のまちづくりの記載事項について、5年後に進捗状況を評価できるよう数値などを設定するべきではないか。評価によって課題を見つけ、改善することで次の10年につながる。	取り組みを評価し、次の計画につなげる。
国府	国府は利用できる土地が少ないため、支所の駐車場も狭く、今後、歴史拠点施設を考えるうえでも課題となることが予想される。広瀬町に点在している市有地を取りまとめて、有効活用できるように考えるべきではないか。	有効利用できるよう検討していく。
国府	国府の土地利用区分の設定で、飛騨市境のリバーサイド一体の商業地域は、商業集積区域に見直した方がいいのではないか。	商工業集積区域は、工場や流通業務施設等を集積する区域としており、当該地区は良好な住環境の形成を図る区域として、郊外住居区域としている。
国府	町内会の運営が厳しい状況は全市的な問題であるため、総論の部分に地域への支援について記載してほしい。	まちづくり戦略「多様な主体の協働による地域コミュニティの活性化」に基づき、町内会やまちづくり協議会の活動に対し引き続き支援する。
国府	地域のまちづくりの方向性に記載されている取り組みは、まちづくり協議会や地域が行うことか。	市民、地域住民組織、事業者、行政などの関係者が協働で取り組むことである。
国府	飛騨を代表する文化財が国府にあるが、分散して眠っている。後世に残すため、国、県の補助を得ながら早い段階で拠点施設を整備してほしい。	市域全体として必要な整備について、検討する。
国府	若者の確保が一番の課題であり、戻ってきた若者が働く場所を作ることが必要である。	サテライトオフィスの誘致をすすめており、特に市外に依存しているIT産業などの誘致に力をいれるほか、中学生や高校生の職場体験の充実や高等学校等卒業生の地元就労に対する支援など、市内の企業、仕事に触れる機会の創出により、若者が就労先として市内企業を選択しやすくなるしくみづくりに取り組む。
国府	近年は山の手入れがされず、積雪などによる倒木もそのまま放置されているため、災害の原因となる可能性がある。対策を講じてほしい。	豪雪等による被害に対しては、倒木処理支援事業等により支援している。今後、民有林を木材生産区域と環境保全区域に分け、それぞれの機能に応じた森林整備をすすめ、水源かん養機能など、森林の多面的機能の維持・向上を図る。
国府	農業は冬場に仕事がない。年間を通した仕事を考えないと定着しない。	現在も周年で農業に取り組んでいる方もみえるため、事例などを紹介するとともに6次産業化なども推進する。

地域 (地区)	意見	対応
国府	広瀬城跡の国文化財指定に向けた取り組みとあるが、国史跡指定と表記した方が具体的である。	市民に分かりやすい表現とするため、「文化財」と表記している。
国府	安国寺経蔵、荒城神社本殿、阿多由太神社本殿と記載されているが、熊野神社本殿も追加し、支援していただけないか。歴史的にも貴重な建造物である。	地域の資源および地域のまちづくりの方向性に「熊野神社本殿」を追記する。
国府	都市基本計画の見直しの背景には、荒廃した山林の増加について書かれているが、地域別構想の主な方針には山林の保全について書かれていない。	森林・山間区域の取り組みの方向性を基にして、地域別方針においても山林の保全について記載する。
国府	森林・山間区域は、土砂災害の恐れがあるので、ハザードマップとの複合的な記載を考えるとできないか。	土地利用の方向性を大枠で示しているもので、危険区域などの詳細な位置を反映することはできないが、実際の開発行為等の際は、災害に配慮した土地利用を図っていく。
上宝・奥飛騨温泉郷	元気な高齢者が増えており、移住を迷っている人もいますので、発信を強化してほしい。東京圏からの移住は補助があるということだが、中部・関西圏からの移住にも取り組んでほしい。	中部圏、関西圏からの移住促進にも更に積極的に取り組む。
上宝・奥飛騨温泉郷	平湯と新穂高地域の交通拠点はいかに具体的にするのか。平湯の県の遊休施設を整備したり、新穂高に駐車場を作るなどしてはどうか。	奥飛騨温泉郷活性化基本構想の策定をすすめており、交通・観光拠点として必要な施設整備等の検討をすすめる。
上宝・奥飛騨温泉郷	神坂地区で最近設置された電柱についても無電柱化の対象になるのか。	現在、中心市街地を中心に整備をすすめているが、当該地域も含めたその他の地域において景観保全等の観点から無電柱化を検討している。無電柱化整備の計画策定をすすめ、国とも連携しながら、事業実施に向け取り組む。
上宝・奥飛騨温泉郷	現在、平湯から上高地へのアクセスは便利なので、中部縦貫自動車道の延伸によって、インターチェンジを作るなど不便にならないよう市としても訴えてほしい。	関係自治体と連携しながら、引き続き延伸に向け働きかけを行うとともに、上高地のアクセスについては整備をすすめている高山国道事務所に要請する。